



「川の指導者を育成し、子どもを遊ばせることが重要だろう」と話す加藤座長。



「協議会参加を機に、自然とふれあうことの大切さを感じ、意識を変えていこうと思った」と語る梅野さん。



「上流域の水をきれいにする活動も起こしたい」と話す、旭川河川環境整備財団の富所専務理事。



協議会終了後、子どもの水辺の登録申請書類が加藤座長から羽山課長補佐へと渡された。

つづく「来年度の活動について」の意見交換も、これまでの協議会での意見をふまえた素案に基づいて行われました。

来年度の活動について

①グラウンドワークの実現に向けて

- 昨年さらで行われたイベントに参加した子どもたちにアンケートを取ったところ、「大きな石を飛びながら向こう岸に渡りたい」「川のようにすべのけるような吊り橋があるといい」などの意見があった。
- さらにでは、子どもたちに「未来の川」の絵を描いてもらったが、その中のひとつでも実現できればおもしろいと思う。
- 流れが大きくなると消える「びよんびよん石」などは、川が生きものであることを感じる大きな存在でもある。
- 子どもたちにとっての川は、おもしろい反面、怖い存在で集中と緊張がある。だからあまり公園化しない方がよいのでは？
- 子どもたちをモニター体験させて何をしたいか選ばせ、そこで何ができたか、次に何がしたいかレポートする。この積み重ねで来年度以降の活動が見えてくるのでは？

②学校の先生やリーダー育成の指導講座開設について

- 日頃から川のことを指導できる人材を育成し、

子どもを遊ばせることが大事だ。

- 道教委などが実施しているリーダー研修会などを参考に、リーダー格の子どもたちに川での体験をさせ、川のリーダーとして学習してもらうのも良いのではないかな。

③現地視察会の開催について

- ぜひとも5月か6月頃に、我々メンバーが川に入る体験をしたい。その際、小学校の子どもたちも連れて行くと良いのでは？
- 我々自身が体験し、「川は楽しいところだよ」と言えるようにしたい。

④その他の施策案について

- 他の地域の「子どもの水辺」に見学に行き、具体的な活動を見てはどうか。
- キャンプができるような環境を整え、現代の忙しい両親たちが気軽に家族とキャンプできるような場所にしてはどうか。
- 子どもたちが来やすいように、バス停の整備も検討したい。

今回の協議会開催をもって「ながやま子どもの水辺」の登録に向けた協議は全て終了しました。「ながやま子どもの水辺協議会」事務局では、協議会で出されたさまざまな意見を集約して登録申請書類を作成し、平成17年3月中旬に正式な登録申請を行います。

「ながやま子どもの水辺協議会」とは

「『子どもの水辺』再発見プロジェクト」を推進し、永山新川に子どもたちでにぎわう豊かな水辺をつくろうと発足しました。旭川市教育委員会や地元小学校関係者、河川管理者、地元NPO法人、永山の地域関係者などが参加して委員を構成しています。



「『子どもの水辺』再発見プロジェクト」とは

国土交通省（河川局）・文部科学省・環境省が連携し、農林水産省がサポートして進めている取り組みです。子どもたちの水辺の利用を促進し、地域における体験活動の充実を図ろうとするもので、全国各地の河川・湖沼などを対象に「子どもの水辺」の選定や登録、支援などが行われています。

道内でもいくつかの団体が登録し活動していますが、旭川市内では本協議会が初めての登録団体となる予定です。

出席者一覧

今回の協議会には、以下の方々が出席されました。

●委員

(敬称略)

所属	職名	氏名	備考
旭川市教育委員会 生涯学習課	課長	清水 達雄	
旭川市立永山東小学校	校長	金子 俊明	欠席
旭川市立永山小学校	PTA会長	太田 覚	
旭川開発建設部 治水課	課長補佐	羽山 英人	
旭川開発建設部 旭川河川事務所	計画課長	桑原 誠	
旭川市土木部公園みどり課	主査	沖本 亨	欠席
財団法人 旭川河川環境整備財団	専務理事	富所 博信	
NPO法人 水と緑のふるさと永山を育てる会	事務局長	佐藤 佳明	
元永山新川水辺づくり意見交換会	会長	加藤 雅規	座長
永山第二地区市民委員会	環境衛生部長	山崎 芳子	
児童クラブ ホクホク	代表	谷地元 雄一	
永山小学校PTA		梅野 由紀子	オブザーバー

●事務局

(敬称略)

所属	職名	氏名	備考
旭川開発建設部 治水課	河川環境管理官	中山 仁	
〃	河川計画係主任	村上 隆志	
〃	河川計画係	公平 圭亮	
〃	河川環境係長	神保 章生	
〃	河川環境係	上畑 一樹	
旭川開発建設部 旭川河川事務所 計画課	専門職	竹森 政彦	
〃 第1工務課	第1工務係	野村 佐和美	
永山新川管理センター(川のふるさと交流館 さらら)	館長	帯川 猛美	
財団法人 旭川河川環境整備財団	事務局長	佐々木 忠義	司会
株式会社 北海道ジェイ・アール・エージェンシー	ディレクター	小椋 尚希	